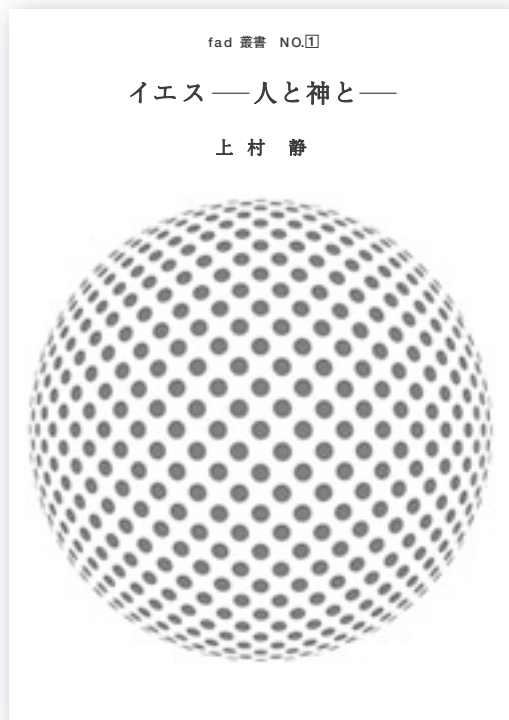


# 生かされて在る〈いのち〉—新しいイエス論— 『イエス—人と神と—』



著者	上村 静
版型	A5版 176ページ
定価	1冊1500円(送料 160円)
編集者	fad叢書編集委員会
発行者	関東神学ゼミナール

## ◎推薦のことは

■本書を私は、ここに展開されているイエス論に共感しつつ、広く読者に推薦する。上村のイエス論は、次の一文に凝縮されていよう。「イエスは、イデオロギーを克服し、神に生かされてある者としてあるべき人間関係を回復するよう訴える。このためにイエスは、被差別者と連帯し、『義人』批判を展開したのである。／人はよい者にならないが、神によって肯定されている。イエスの人間観は、神観と表裏一体をなしている。それをイエスは『神の国』と呼んだ。」これが本書の副題に「人と神と」が付されている所以であろう。なお上村は、パウロの「福音」宣教のなかに、イエスとの「不連続性」と共に「連続性」をも認め、本書を「保守的教派の牧師」である父と、その生涯を「小さな〈いのち〉のために捧げ」た亡き母とに、「両親のキリスト信仰との和解」のしるしとして捧げている。これは私にとって、まさに「福音」であった。

**荒井 献** (東京大学・恵泉女学園大学名誉教授)

■本書の著者は最近イスラエルのヘブライ大学で学位を取得した気鋭のユダイストである。しかし、研究生活の当初から、史的イエスに強い関心を寄せてきた。そこから、旧約聖書学と新約聖書学の両方にわたって視野と問題意識を拓けてきた。本書はその途中で産み出された成果をまとめたものである。専門のユダヤ学から、これまでの先行研究には十分ではなかった視点を持ち込んでいる点が新鮮であり、著者の今後の研究にもっとも期待されるところである。私の『イエスという経験』についても言及されている。私自身のイエス論との重なりとずれを確かめながら、読むことは私にとって大きな喜びであり、刺激でもある。

**大貫 隆** (東京大学教授)

■「緻密にして大胆——この気鋭の研究者との対話なしに、これからのイエス研究はあり得ない」

**佐藤 研** (立教大学教授)

(キリトリ線)

## ◎『イエス—人と神と—』のお申し込みは…

FAX(下記へ必要事項を記入)またはメールにてお願いします。

**FAX番号 03-3207-1273 メールアドレス [fad@iya-ten.net](mailto:fad@iya-ten.net)**

※5冊以上お申し込みの方は送料は無料。4冊までは送料は自己負担となります。

フリガナ		電話番号		FAX番号	
名前					
住所	〒				
メールアドレス				申し込み冊数	冊

## ◎お問い合わせは…

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 キリスト教事業所連帯合同労組気付

fad叢書編集委員会 担当/星山京子